



IBM System i 525 Express

製品概要	製品仕様	
概要	詳細説明	特長

基本仕様

IBM POWER5+™ プロセッサ – 第10世代の 64 ビット・プロセッサ・テクノロジー
i5/OS®、Microsoft® Windows Server™、Linux®、IBM AIX 5L™ のほか、IBM WebSphere® や Java™ などのアプリケーション環境にも対応するマルチプラットフォーム・オペレーティング環境
テクノロジー面およびビジネス面のニーズに合わせた柔軟な購入を支援する、オンデマンドの価格設定オプション
すべてのオペレーティング環境で利用可能な、実績あるソリューションの広範なポートフォリオ
5250 OLTP（オンライン・トランザクション処理）の実行能力をフル装備

ハードウェア概要

i5/OSが搭載されており、Microsoft Windows® ※1、Linux および AIX 5L オペレーティング・システムの追加が可能
1/2Way オフリングで 3800/7100CPW を実現
最大 32GB のメモリー
最大 278 台のディスク・ドライブ（最大容量 39TB）
高速リンクを経由する最大 6 個の I/O 拡張タワー/ドロー
最大 90 個の PCI-X スロット、192 の WAN 回線、36 の LAN
内蔵型のイーサネット LAN およびディスク・コントローラー
DVD-ROM または DVD-RAM
最大18個のIBM統合xSeries® サーバーまたは 21個のiSCSI アダプター

※1 統合 xSeries アダプターまたは統合 xSeries サーバーを経由します。

IBM System i 525 Express

製品概要	製品仕様	
概要	詳細説明	特長

ハイライト

オペレーティング・システムとデータベースを標準装備
ウイルスに強い設計、セキュリティ・ツールを標準装備
バックアップ/リカバリー・ツールを標準装備
パフォーマンス・チューニングと Web ベースのシステム管理ツールを標準装備
Web サーバーを標準装備
キャパシティー・オンデマンドを標準装備
30ユーザー以上の中堅規模企業向け

サマリー:

中堅規模の企業の多くは、「IT 環境の過度の複雑化」という課題に直面しています。事業の成長に伴って、コンピューティング・ニーズは増大します。新規アプリケーションの実装によってサーバーの追加を余儀なくされ、運用コストや人件費が増大することもあります。今日の企業では、時間、スキル、資金を大量に投入しなくても、お客様に対する即応性を高め、生産性を向上し、運用の中断なしにデータとシステムを保護できるようなシステムが、これまで以上に求められています。つまり、必要なときにいつでも利用でき、事業に合わせて拡張していけるようなビジネス・システムが求められているのです。IBM System i5™ は、新規または既存の基幹業務アプリケーションを単一システム上で実行できるような処理能力と容量を備えているため、IT 環境を容易に統合してシンプル化できます。また、System i5 は、必要な機能や特性がすべて組み込まれた、コスト効率の極めて高いビジネス・システムです。

System i5 は、強力なセキュリティ機能を備えています。また、革新的な IBM テクノロジーと、主要なオペレーティング・システムやアプリケーション環境をすべて 1 つのシステム上で実行できる能力を活用しながら、IBM ビジネス・パートナーの実績ある業種別ソリューションをサポートしています。System i5 は、ビジネス価値の実現に焦点を当てた柔軟な価格設定になっています。つまり、卓越した機能、価格性能比、信頼性、管理の容易性を備えたシンプルで経済的なソリューション、しかも高度なセキュリティ機能を備えた柔軟なソリューションを、「小規模なシステムから開始して、新たなビジネス要求に応じてシステムを成長させていく」という方法で手にしていただけるのです。

IBM System i 525 Express

製品概要		製品仕様
概要	詳細説明	特長
特長	利点	
POWER5+ マイクロプロセッサ	IT 環境のコストと複雑さを抑えたい企業に、理想的なプラットフォームを提供します。 新たなビジネス・アプリケーションを迅速に配備し、短時間で投資を回収しながら、システム管理全体を改善できます。	
i5/OS オペレーティング・システムおよびミドルウェア	高度な統合型アプローチにより、システムの導入、運用、管理が競合他社のサーバー・アーキテクチャーと比べて容易になります。 お客様自身はOS、データベース、ミドルウェア、セキュリティ、管理ツールの導入、テスト、トラブルシューティング、および保守を行う必要はありません。	
複数のオペレーティング・システムをサポート	それぞれのニーズに応じて、最適なオペレーティング・システムとアプリケーションを柔軟に選択できます。 シンプルな IT 環境を実現し、アプリケーションの選択肢を拡大します。	
卓越したソリューション・ポートフォリオ	i5/OS、Windows（統合 xSeries サーバーまたは統合 xSeries アダプター経由）、POWER™ 上の Linux、Intel 上の Linux（統合 xSeries サーバーまたは統合 xSeries アダプター経由）、および AIX 5L をサポートすることにより、System i5 は、単一のシステム上で広範なアプリケーションの選択肢を提供します。	
シンプルなサーバー統合	複数のサーバー、オペレーティング・システム、アプリケーションを単一のシステム上に統合することにより、コストを削減して新規投資を促します。 技術スタッフをほとんど必要としない、自己管理機能と自己調整機能を備えた環境を提供します。	
マイクロ・パーティショニング	「共有リソース」や「シンプルな一元的管理」といった利点を維持しながら、単一のシステムを論理的に分割し、それぞれ独立して動作する多数の個別サーバーとして機能させることができます。 空いているキャパシティを柔軟に活用し、ビジネス要件の変化に応じて迅速にリソースを割り振ることができます。	
メインフレームで培われた RAS（信頼性、可用性、保守性）	System i5 に組み込まれたテクノロジーは、システム管理タスクの自動化とダウンタイムの防止に役立ちます。	
エディション	複雑さを緩和してビジネス・バリューを最大化できる、柔軟なオプション・パッケージが用意されています。	
xSeries 統合ソリューションによって Windows と Linux を統合 ※	System i5 に Windows サーバーを統合することにより、管理が容易になり、Intel の複数のスタンドアロンサーバー上で Windows や Linux を実行する場合にも匹敵する、コスト効率の高い代替策となります。	
WebSphere Application Server - Express を同梱	基幹業務 アプリケーションを容易に Web 化し、サプライヤー、パートナー、お客様との統合を図ることができます。	
高度なセキュリティ機能	i5/OS にはセキュリティ機能が組み込まれており、規制順守プロセスへの対処やお客様データの保護に役立ちます。 i5/OS は、アンチウィルス機能を強化するオブジェクト・ベースの設計を採用しています。	
仮想イーサネット	システム内部のオペレーティング・システム間およびパーティション間に、安全で信頼できる高速通信機能を提供します。	
仮想 I/O	リソースを共有することにより、コストの削減とシステム管理の簡素化を図ります。	
ストレージの仮想化	i5/OS は、SAN に類似した機能を提供し、ストレージ利用の効率と管理性を高めます。	
優れた価格性能比	卓越した機能を備えたシンプルで経済的なソリューションが、「小規模なシステムから開始し、新たなビジネス要求に応じてシステムを成長させていく」という柔軟性を提供します。	

※ オプションの機能、一部のモデルで使用できる機能、または独立したソフトウェアを必要とする機能を示します。

IBM System i 525 Express

製品概要 製品仕様

IBM System i 525 Express の概要

コンフィグレーション	Expressコンフィグレーション 1	Expressコンフィグレーション 2	Expressコンフィグレーション 3	キャパシティー・バックアップ (CBU) エディション
プロセッサ	1/2Way POWER5+™ (8330 × 1)			
プロセッサ-CPW (ベース/最大、CoD 付)	3800/7100			
対話型CPW	3800/7100			
L3 キャッシュ	36MB			
メモリー(最大)	32GB			
ディスク・ドライブ数(最大)	278			
ディスク容量(最大)	39TB			
i5/OS	搭載 (30 ユーザー)	搭載 (150 ユーザー)	搭載 (無制限)	搭載 (30 ユーザー)
プロセッサ・グループ	P10			
Linux、Windows Server、IBM AIX 5L 対応	あり			
統合System x サーバー数(最大)	18			
統合System x アダプター数(最大)	8			
I/C タワー/ドロー数(最大)	6			
PCI カード・スロット数(最大)	90			
LAN ポート数(最大)	36			
省エネルギー法による表示 ※ 2	区分	c		
	エネルギー消費効 率	0.048		

※2 エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。なお、「区分」は2007年からの基準に基づいたものです。